気候変動対策、待ったなし

~区民参加によるゼロカーボンシティ杉並を考えよう~



杉並区

「地球温暖化」のメカニズム



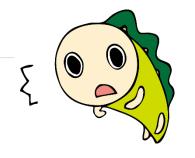
太陽からのエネルギーで地表が 温まる 地表から熱が放出される その熱を温室効果ガスが吸収、 再放射して大気が温まる 大気中の温室効果ガスの濃度が 上がると… 温室効果がこれまでより強くなり、 地上の温度が上昇する

出典:COOLCHOICEホームページ (https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/ondanka/)

世界の地球温暖化による影響



出典:環境省「令和4年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」



◎米国カリフォルニア州の山火事

←7月頃から森林火災が起こり、 10月までに39万ヘクタールが焼失 した。



出典:環境省「令和5年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」

◎南アジアの大雨による洪水被害

← 5 月から 9 月の大雨により合計で 4,510人以上が死亡した。

国内の地球温暖化による影響



出典:環境省「令和5年版 環境・循環型社会・生物多様性白書|





○令和4年8月の大雨被害

←北海道地方や東北地方及び北陸地方を中心に記録的な大雨となり、各地で被害が発生した。

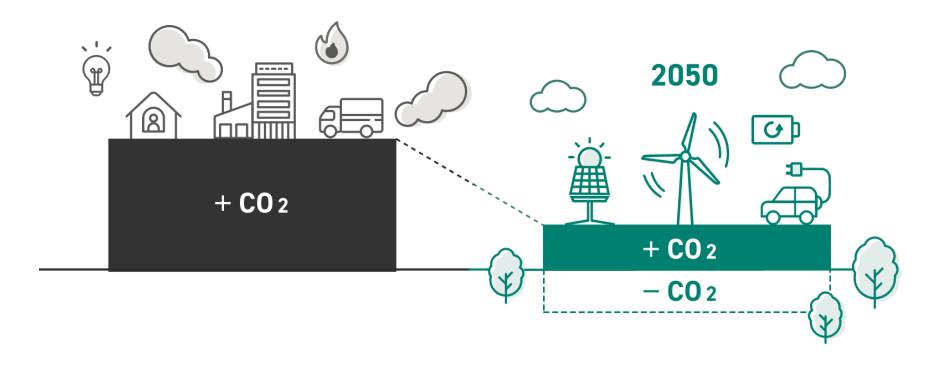


◎杉並区内で起きた大雨被害

←↑平成17年9月、集中豪雨 により被害が発生した。

ゼロカーボンとは?

温室効果ガスの「排出量」-植林、森林管理などによる「吸収量」=0



出典:環境省 脱炭素ポータルホームページ

(https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/about/)

杉並区ゼロカーボンシティ宣言(抜粋)



今、世界では、地球温暖化の影響により、干ばつや豪雨、台風などが強大化し、大規模な自然災害が発生しています。もはや「気候変動」ではなく、「気候危機」とも言える事態になっており、これまで以上の取組が求められる喫緊の課題となっています。

そこで、杉並区は、2050年までに温室効果ガス排出量を実質 ゼロにする「2050年ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに表 明し、区民や事業者の皆様とともに脱炭素社会の実現に向け た取組を強力に進めます。

温暖化の進行を食い止め、良質な住宅都市として発展してきた杉並区の環境を将来世代に引き継いでいくため、全力で取り組んでいきます。

(令和3年11月1日表明)

杉並区地球温暖化対策実行計画 (区域施策編・事務事業編)について

区域施策編

区民、事業者、区が一体となり、区内から排出される温室効果ガス 排出量の削減等に杉並区全体で取り組むための計画として、

二酸化炭素排出量等の削減目標を示すとともに、具体的な取組を取りまとめたもの。

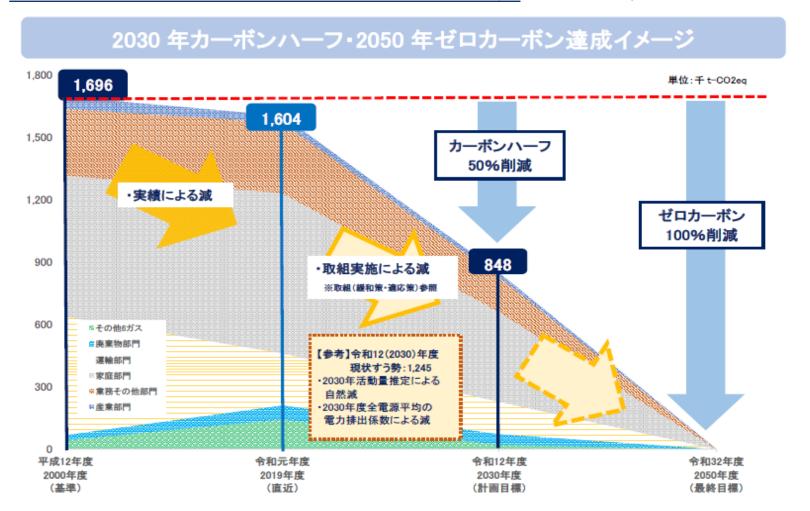
事務事業編

区が区内の一事業者として、温室効果ガス排出量の削減等に取り組むための計画で、目標や具体的な内容等を定め、省エネルギー、省資源、環境配慮行動につながる取組を率先的に行うことで、区民や区内事業者の模範となることを目指すもの。

温室効果ガスの削減目標【区域施策編】

2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、

<u>令和12(2030)年度の温室効果ガス排出量を平成12(2000)年</u> 度比で50%削減するカーボンハーフを目標に定める。



ガスの種類・部門別の削減目標【区域施策編】

単位:千t-C02eq

ガス種 部門等の別			平成12年度 2000年度 (基準)	令和元年度 <u>2019年度</u> (直近)	令和12年度 <u>2030年度</u> (現状すう勢)	令和12年度 <u>2030年度</u> (計画目標)	必要削減量 対現状すう勢
C O 2			1,654	1,461	1,075	827	▲ 248
	産業部門		5 8	3 2	27	21	▲ 6
	民生部門	業務部門	3 2 2	3 4 0	2 1 8	168	▲ 50
		家庭部門	679	772	560	431	▲ 129
	運輸部門		570	250	201	155	▲ 46
	廃棄物部門		2 5	6 8	68	5 2	▲ 16
その他6 ガス種			4 3	144	170	2 1	▲ 149
	ハイドロフルオロカーボン類		2 1	135	161	20	▲ 141
	その他		2 2	9	9	1	▲ 8
合計			1,696	1,604	1,245	848	▲397

※表中の数値は小数点以下を四捨五入している。

必要削減量:令和12(2030)年度の本計画目標と現状すう勢の差異

現状すう勢とは、直近の令和元(2019)年度の実績値に、追加的な対策を行わないと仮定し、人口や経済活動量等の変化及び再生可能エネルギーの普及等(国が示す令和12(2030)年度全電源平均の電力排出係数)による想定を反映して算出した令和12(2030)年度想定値のこと。

策	削減の方向性	取組			
	I 区民 事業者 区による エネルギー利用の最適化	I - i 再生可能エネルギーの利用推進I - ii 省エネルギー対策の推進I - iii 環境配慮行動の促進			
	Ⅱ 交通対策の推進	Ⅱ - i 環境負荷軽減に配慮した自動車等の利用 Ⅱ - ii 交通環境の整備			
緩和策	Ⅲ 緑化と緑の保全の推進	Ⅲ — i 緑化の推進 Ⅲ — ii 緑の保全の推進			
100 11010	Ⅳ 循環型社会形成の推進	IV — i ごみの減量 IV — ii リサイクルの促進			
	V 環境教育 学習、 環境活動の推進	V - i 環境教育 学習の促進 V - ii 協働による環境活動の促進			
	VI 仮称)気候区民会議に 関連した取組	仮称)気候区民会議の実施に向けた調査研究			
適応策	(杉並区気候変動適応計画)	I 雨水浸透 貯留施設の設置推進等による水害対策 Ⅱ みどりのベルト」づくり等によるヒートアイランド現象対策 Ⅲ 熱中症対策 Ⅳ 蚊等の生物が媒介する感染症予防			

創エネ・省エネ機器導入助成





太陽光発電システム



強制循環式ソーラーシステム





内窓の設置



エネファーム

交通対策の推進

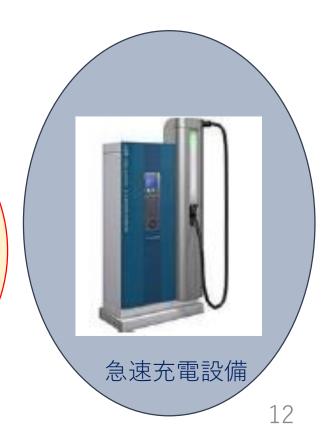




◎シェアサイクルやグリーンスローモビリティ等の環境負荷が少ない移動手段の選択肢の拡充

◎区民・事業者向け に電気自動車用充電 設備導入費用の一部 を助成





取組【事務施策編】

- ・再生可能エネルギーの導入拡大
- ・自治体連携によるカーボンオフセット事業の実施



◎路面太陽光発電システムの試験導入(杉並区役所前広場)

◎自治体連携による カーボンオフセット 事業の実施 (東京都青梅市)





<森林整備前>



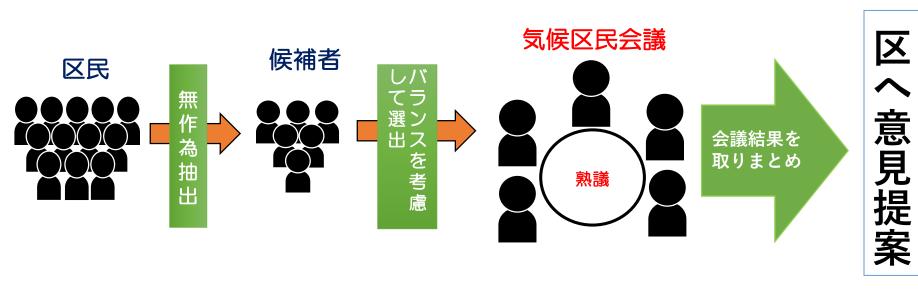
<森林整備後>

策	削減の方向性	取組			
	I 区民 事業者 区による エネルギー利用の最適化	I - i 再生可能エネルギーの利用推進I - ii 省エネルギー対策の推進I - iii 環境配慮行動の促進			
	Ⅱ 交通対策の推進	Ⅱ - i 環境負荷軽減に配慮した自動車等の利用 Ⅱ - ii 交通環境の整備			
緩和策	Ⅲ 緑化と緑の保全の推進	Ⅲ ー i 緑化の推進Ⅲ ー ii 緑の保全の推進			
100 1001	Ⅳ 循環型社会形成の推進	IV - i ごみの減量 IV - ii リサイクルの促進			
	V 環境教育 学習、 環境活動の推進	V - i 環境教育 学習の促進 V - ii 協働による環境活動の促進			
	VI 仮称)気候区民会議に 関連した取組	仮称)気候区民会議の実施に向けた調査研究			
適応策 (杉並区気候変動適応計画)		I 雨水浸透 貯留施設の設置推進等による水害対策Ⅱ みどりのベルト」づくり等によるヒートアイランド現象対策Ⅲ 熱中症対策Ⅳ 蚊等の生物が媒介する感染症予防			

(仮称)気候区民会議の開催

無作為抽出により選出された区民が、気候変動対策について学習を行い、議論を重ね、その結果を区の施策に生かしていくための会議。

参加者の年齢層や性別などのバランスを考慮して選出することで、気候変動対策に関心がある人・ない人も含め、自由に議論を重ね、その議論の結果を区政運営に生かす気候区民会議の開催に向けて検討しています。



(仮称)気候区民会議の流れ



①講義を聞く

有識者から気候変動に関するさまざまな知識・情報の提供を受けながら学ぶ。



②グループワーク

気候変動対策について、参加者が自由に意見・アイデアを出し合い議論を重ねる。



③全体共有

各グループでの議論の結果を参加者 全体で共有する。

他自治体の例(武蔵野市)

開催期間:令和4年7月~11月に月1回、全5回開催



結果の活用

- ①市民向け行動指針の作成
- ②優れた取組を表彰する「ゼロカーボン大賞事業」
- ③再エネ電気切替協力金支給事業

出典:むさしのエコreゾートHP「武蔵野市気候市民会議のあゆみ」 https://musashino-ecoresort.com/citizensassembly/ 17

(仮称)杉並区気候区民会議の概要

- ●開催時期
 - 令和6年3月から概ね月に1回開催し、全6回の予定 (別途、会議結果の報告等のためシンポジウムを開催予定)
- ●会議時間 各回3時間程度
- ●会 場 区役所本庁等 区内施設



ご清聴ありがとうございました。

